

# 雄叫び

2009年  
11月30日  
第74号

JR東海労働組合新幹線関西地方本部  
名古屋車両所分会  
発行者 田川 裕之 編集者 教宣部

## 車両係が仕業の検査を担当か!!

組合員のみなさん！ 名古屋車両所のみなさん！！

近々、名古屋車両所の仕業検査の検査業務を見込み試験で車両係が担当することになると伝え聞きます。果たして、これで会社が普段から云う『「安全」「安心」「快適」「万全」な、車両をお客様に提供できる』のでしょうか？！

自称、責任組合と称するユニオン役員は、このことについて何も感じないのでしょうか？

なぜ会社は、**安い賃金の車両係に責任の重い検査担当をさせる**のでしょうか！そもそも、名古屋車両所において車両係の要員が7名は多すぎるのではないのでしょうか？現在、技術係の要員が足りないのであれば車両係を技術係に、または技術係を転勤させれば良いのではないのでしょうか。大阪の車両所には名古屋車両所への転勤希望の社員が多く存在します。

検査業務をさせるのであれば、早期に昇進させてからでも遅くないと考えます。会社は、見込み試験のみで検査の業務をさせるのはなぜでしょうか？新賃金制度により昇進スピードは落ち賃金は、抑えられている、このことを見てもわかるようにリニア建設に莫大な資金がかかるため社員の賃金は抑えられるのである。

このような、安全を無視し会社をも無くしかねない会社のやり方に対し良識あるみなさんならわかるはずである。声を大きく出し反対していこうではありませんか！